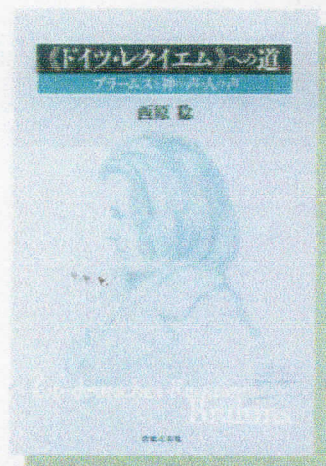


- †書名 **《ドイツ・レクイエム》への道**
 ブラームスと神の声・人の声
 †著者 西原 稔
 †定価 本体 3,900 円 + 税
 †体裁・頁数 A5 判・上製
 †発行日 2020 年 9 月 10 日
 †ISBNコード ISBN978-4-276-13034-0 C1073
 †概要



音楽社会学の第一人者による ブラームス・ファン待望の一冊！

若き創作の軌跡と源泉をたどり 作品世界を描きだす

ブラームスの創作の中間に位置する《ドイツ・レクイエム》(作品 45、1868 年完成)は、彼がそれまでに追求してきた「人の声」の思想の集大成でもあり、彼独自の「死生観」が込められた宗教作品。ブラームスの若き時代に取り組んだ民謡研究ほか、古楽をはじめとした過去の作品研究、聖書研究などの成果が傾注され、16 世紀以来のドイツの宗教音楽が集約された作品となっている。

この作品は、現在でも演奏会のレパートリーとして親しまれている人気曲にもかかわらず、ブラームスは作品の草稿のほとんどを破棄したため、創作の背景がなかなか解明されてこなかった。

本書は、いかにして《ドイツ・レクイエム》への道が用意されるようになったのか、多角的な見地から創作の背景を探り、ブラームスの生涯の創作にも通ずる思想に迫る。たんなる作品解釈にとどまらず、この作品の背景をなしたさまざまな要素を析出して、この作品を軸に彼の創作の広いパースペクティヴを描きだす。

ブラームスの思索した、作品世界を知ることのできる一冊。